

asteria warp
Business Automation Platform

インストールガイド

ご注意

このソフトウェアの著作権は、アステリア株式会社に所属します。このソフトウェア及びマニュアルの一部または全部の使用、複製、開示は、本製品の使用許諾契約書に記された制約条件の下でのみ使用することができます。

このソフトウェアは、原子力、航空宇宙産業、医療あるいはその他の人命に危険が伴う用途を目的として開発されておりません。このソフトウェアを上述のような用途に使用することについての安全確保は、顧客各位の責任と費用により行ってください。万一かかる用途での使用によりクレームや損害が発生した場合にアステリア株式会社は一切責任を負いかねます。

このソフトウェアの仕様およびマニュアルは、将来予告無しに変更することがあります。

ASTERIA およびアステリアは、アステリア株式会社の登録商標です。

このマニュアルに記載されているその他の会社名および製品名は、あくまでその会社および製品を識別する目的にのみ使用されており、それぞれの所有者の商標または登録商標です。

2018年12月18日

アステリア株式会社

Copyright © 2018 Asteria Corp. All rights reserved.

目次

1. インストールの前に	1
1.1. ユーザーサイトへの登録	1
1.2. インストーラーの取得	1
1.3. ライセンスキーの取得	1
1.4. ユーザーの作成	1
1.5. Java のインストール	1
1.6. 注意事項	1
2. フローサービスのインストール	3
2.1. インストール手順	3
2.2. 初期設定の実行	21
3. フローデザイナーのインストール	28
4. インストール後	39
4.1. フローサービスの起動	39
4.2. フローサービスの停止	39
4.3. フローデザイナーの起動	39
4.4. フローサービス管理コンソールへのアクセスについて	40
4.5. フローサービス管理コンソールへのログインについて	40
4.6. アダプターの適用方法について	42
4.7. フローサービスの利用方法について	45
5. アンインストール	46
5.1. サーバー アンインストール手順	46
5.2. フローデザイナー アンインストール手順	46

1. インストールの前に

1.1. ユーザーサイトへの登録

ASTERIA Warp のインストーラーやライセンスキーは、ユーザーサイトからダウンロードします。ASTERIA Warp をインストールする前にユーザーサイトへアカウントを登録してください。

【URL】 https://asteria.com/mng/user_input

1.2. インストーラーの取得

ユーザーサイトへログインし「ダウンロード」からインストーラーをダウンロードします。ユーザーサイトのログイン URL は次の通りです。

【URL】 <https://asteria.com/mng/login>

1.3. ライセンスキーの取得

ユーザーサイトへログインし、トライアルライセンスを取得する場合は、「ダウンロード」からライセンスキーをダウンロードします。正式ライセンスを取得する場合は、購入製品情報からダウンロードします。

1.4. ユーザーの作成

ASTERIA Warp をインストールする前に、ASTERIA Warp を実行するためのユーザーを OS 上に作成する必要があります。管理ユーザー（root など）で ASTERIA Warp サーバーをインストールする際は、セキュリティに十分注意して運用を行ってください。

1.5. Java のインストール

ASTERIA Warp は実行環境として Java Runtime Environment(JRE)を使用します。Oracle 社の Java ダウンロードページから Java8 のインストーラーをダウンロードして実行環境にインストールして下さい。

【URL】 <https://java.com/ja/download>

※ASTERIA Warp サーバーの実行には Java8 64bit 版が必要です。ASTERIA Warp フローデザイナーの実行には Java8 64bit 版または 32bit 版が必要です。

※Java の自動アップデートが実施されると、ASTERIA Warp が起動できなくなる場合があります。Java の自動アップデートを無効にする設定を行ってください。

1.6. 注意事項

1.6.1. ASTERIA Warp4.9.1 以前のバージョンからのアップデート

ASTERIA Warp 1610 以降では、ASTERIA Warp4.9.1 以前とはフォルダー構成が変更されているため、直接バージョンアップすることができません。旧バージョンから環境移行を行う場

合は「環境移行ガイド」をご参照ください。

1.6.2. バージョンアップインストール

オンライン環境では、管理コンソール (FSMC) の「システム>アップデート>システム」メニューからバージョンアップを行うことができます。

オフライン環境では、ASTERIA Warp サーバーおよび ASTERIA Warp フローデザイナーを**上書きインストール**してください。上書インストール後の最初の起動時に自動的にバージョンアップされます。

ここで、上書インストールとは、インストールフォルダーとして古いバージョンのインストールフォルダーを指定してインストールすることです。

Windows 版の場合は、上書インストール時に古いバージョンをアンインストールしますので「1.6.3 Windows 版でのアンインストールについて」にご注意ください。

1.6.3. Windows 版でのアンインストールについて

Windows 版でアンインストールを行うと、アンインストーラーが実行されます。アンインストーラーの実行ではインストール時に選択した Java が使用されますので、インストール時に選択した Java がインストールされていることを確認してください。インストール時に選択した Java がすでにアンインストールされている場合には、Oracle 社の Java アーカイブダウンロードページから同じバージョンの Java を再度インストールしてください。

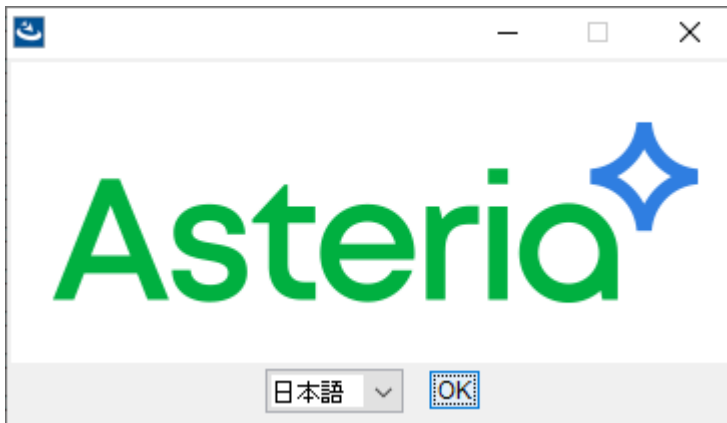
【URL】 <http://www.oracle.com/technetwork/java/javase/archive-139210.html>

2. フローサービスのインストール

2.1. インストール手順

2.1.1. Windows の場合

1. インストールユーザーで Windows にログインします。
2. フローサービスが起動している場合は停止します。
3. ユーザーサイトからダウンロードした以下のいずれかのファイルを実行し、ASTERIA Warp サーバー(以下、サーバーと呼びます)のインストーラーを実行します。
install-asteriawarp-core-win.exe (ASTERIA Warp Core)
install-asteriawarp-coreplus-win.exe (ASTERIA Warp Core+)
install-asteriawarp-win.exe (ASTERIA Warp Standard/Enterprise)
4. 言語の選択画面が表示されます。



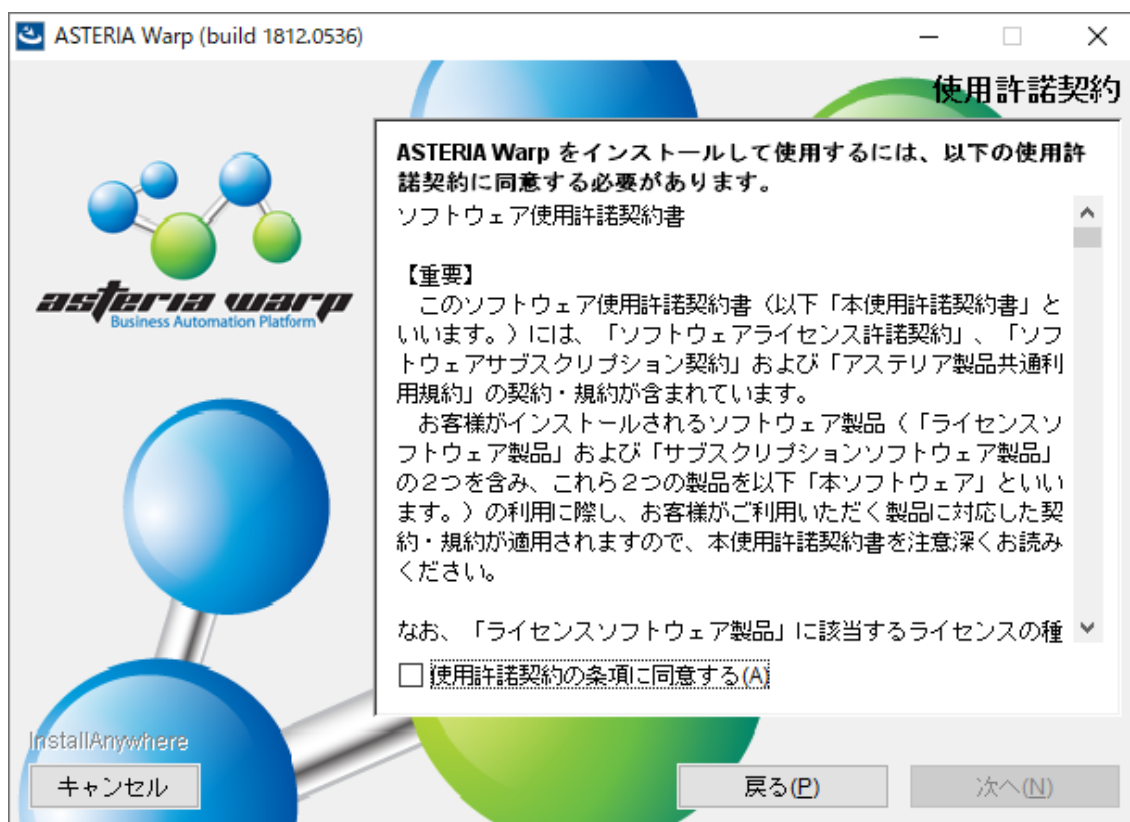
インストーラーで使用する言語を選択した後「OK」をクリックしてください。

5. 開始画面が表示されます。



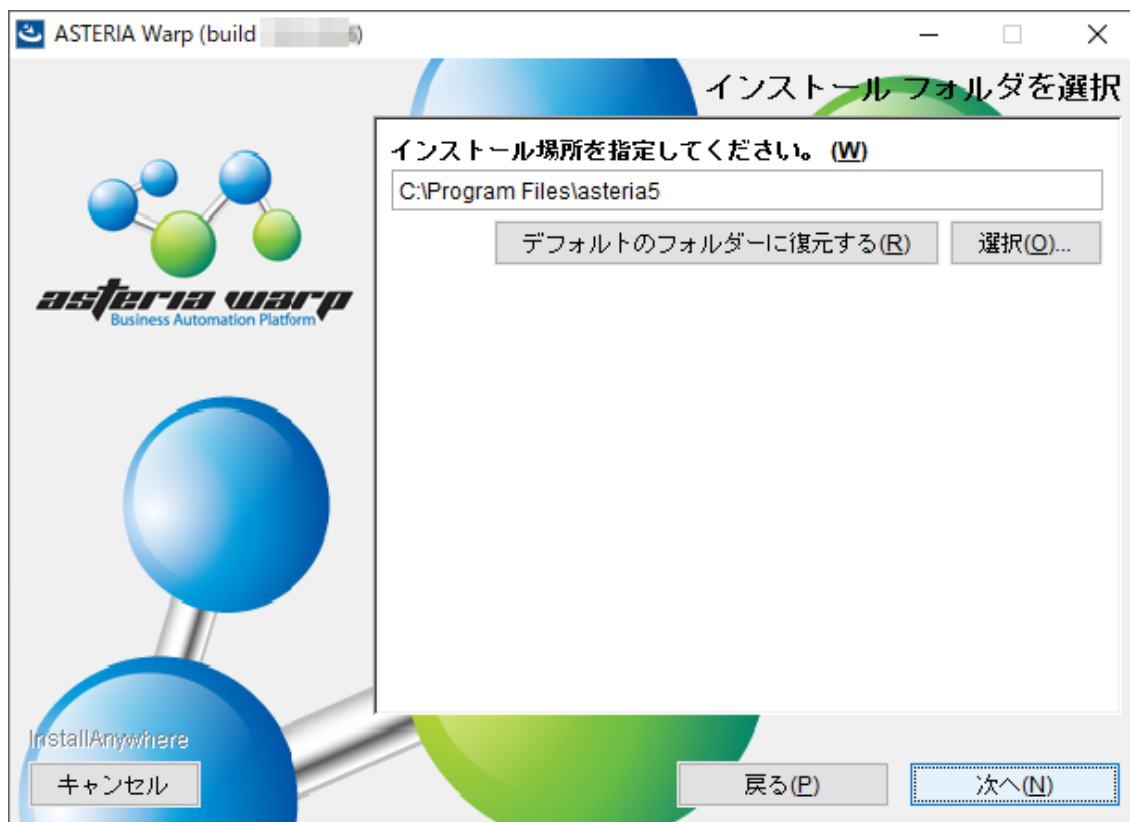
インストールに際しての注意事項が表示されますので文章を読んだ後「次へ」をクリックしてください。

6. 使用許諾契約画面が表示されます。

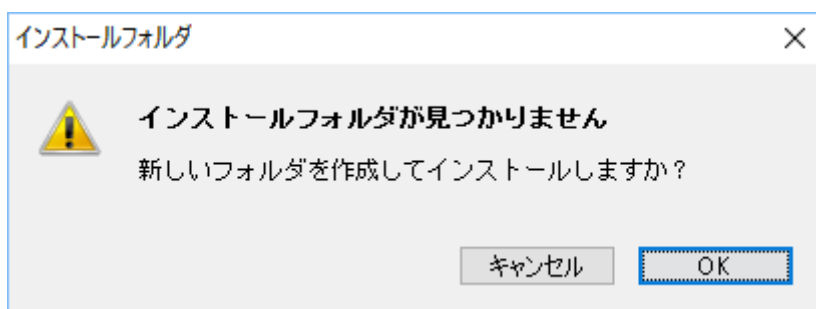


ソフトウェア使用許諾契約書をよく読み、同意する場合は「使用許諾契約の条項に同意する」をチェックし、「次へ」をクリックしてください。

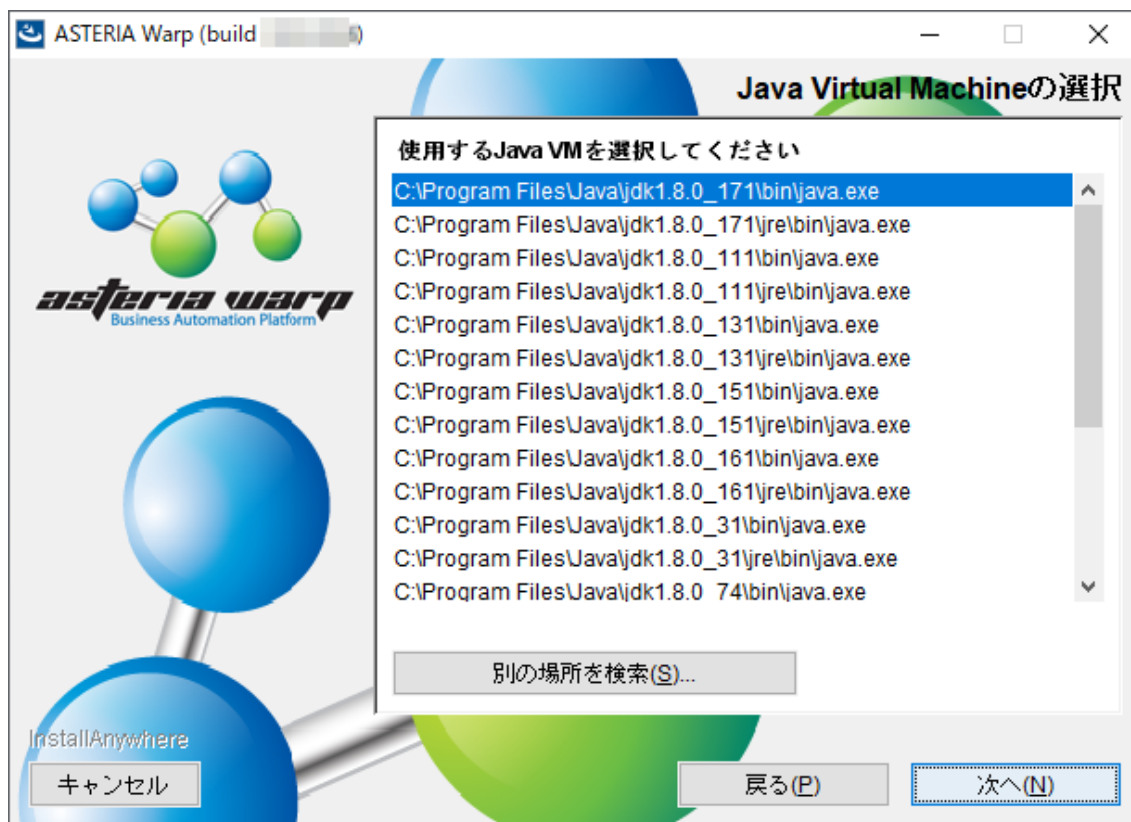
7. インストールフォルダの選択画面が表示されます。



サーバーをインストールするフォルダを指定してください。バージョンアップする場合は旧バージョンのインストールフォルダを指定してください。指定したフォルダが存在しない場合は、次のダイアログが表示されます。フォルダを作成してインストールを進める場合は「OK」ボタンをクリックしてください。



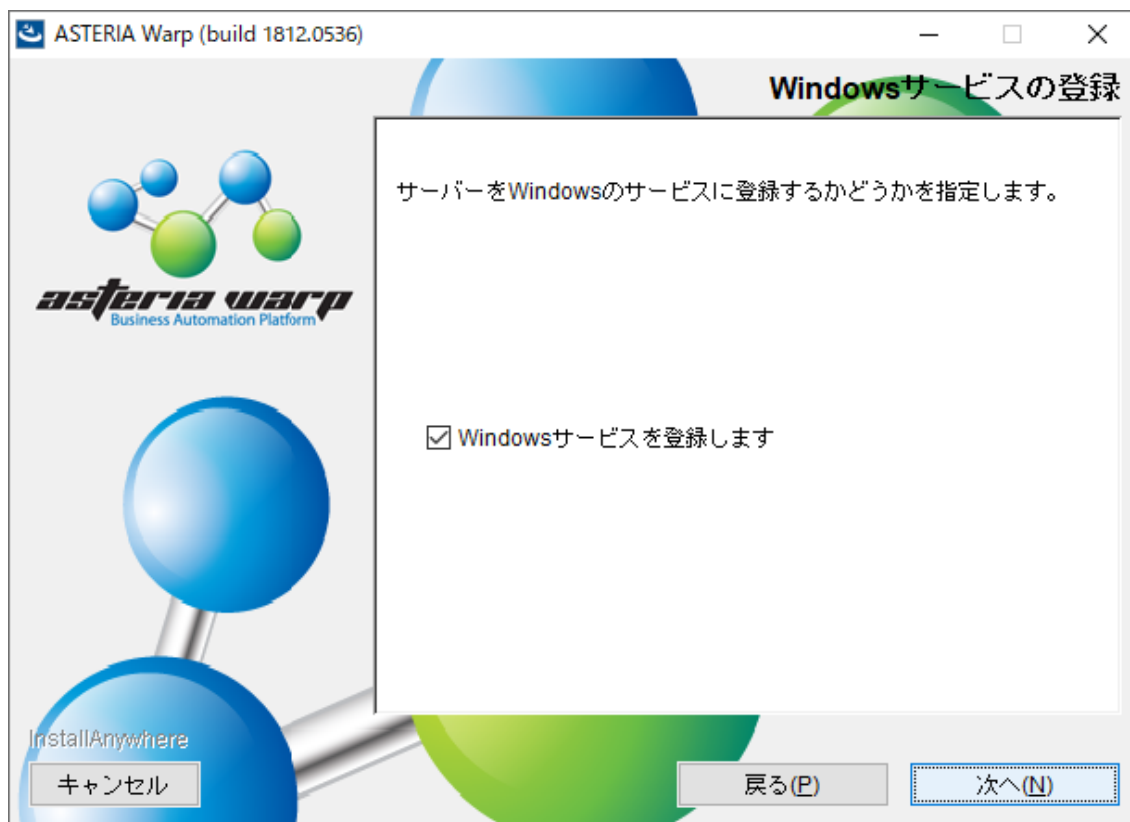
8. JavaVM の選択画面が表示されます。



事前にインストールした Java のファイルパスを選択します。使用する Java が一覧に表示されていない場合は「別の場所を検索」ボタンで一覧以外の Java を選択することができます。

7. で旧バージョンのインストールフォルダーを選択した場合はこの画面は表示されません。

9. Windows サービスの登録画面が表示されます。

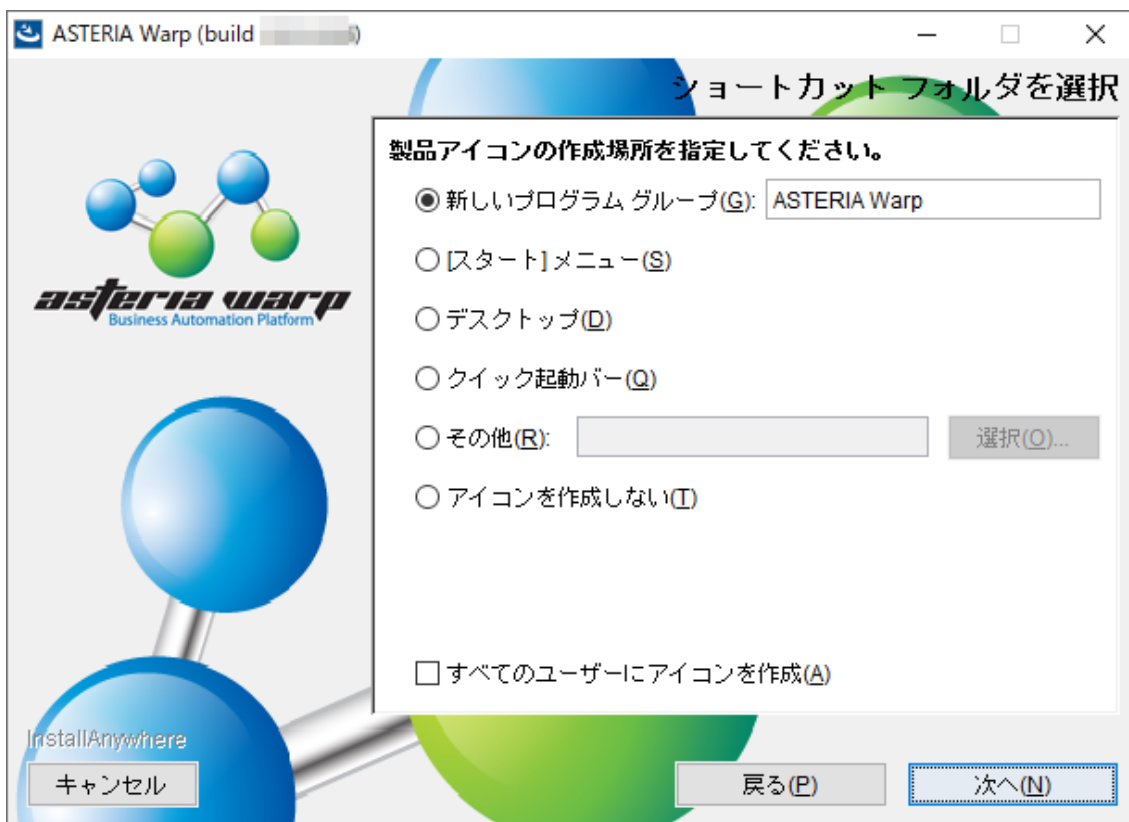


ここでは Windows サービスに登録するかどうかを選択します。

「Windows サービスを登録します」をチェックした場合、Windows サービスとして登録され、サービス実行ができるようになります。

設定したら「次へ」をクリックしてください。

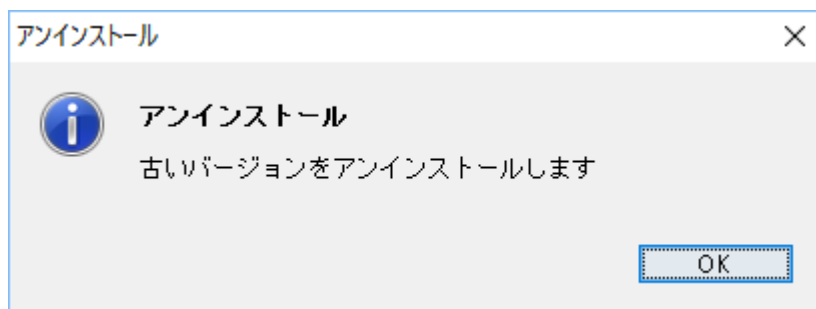
10. ショートカットフォルダの選択画面が表示されます。



スタートメニューに登録する際のショートカットを作成する場所を選択します。
ショートカットフォルダを選択したら「次へ」をクリックしてください。

11. 過去のバージョンからアップデートする場合、過去のバージョンをアンインストールします。ここからはアンインストールが行われる場合に表示されます。新規にインストールする場合は 16. へお進みください。

12. アンインストールの開始画面が表示されます。



過去のバージョンをアンインストールします。「OK」ボタンをクリックしてください。

13. アンインストーラーが起動します。



起動中のサービスは自動的に停止されますので「アンインストール」をクリックしてください。

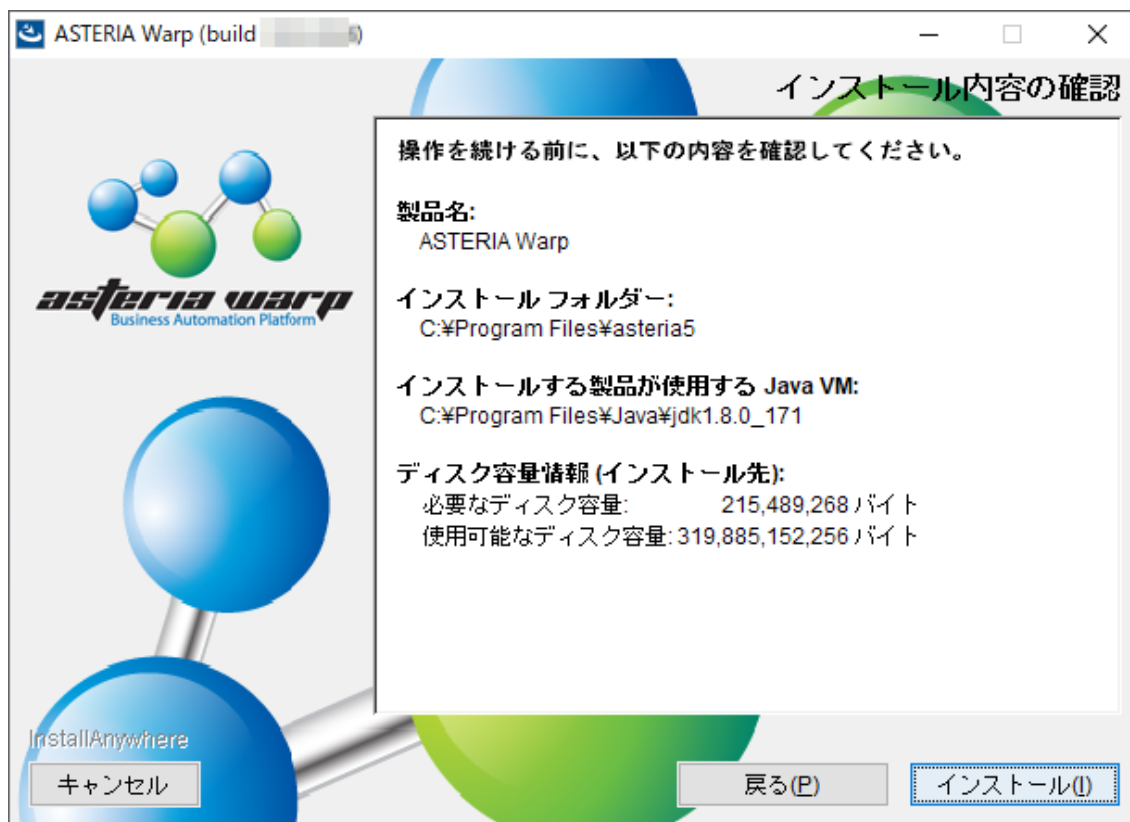
14. アンインストールが開始されます。



15. アンインストールが完了するとアンインストール完了画面が表示されますので「完了」をクリックしてください。



16. インストール内容の確認画面が表示されます。

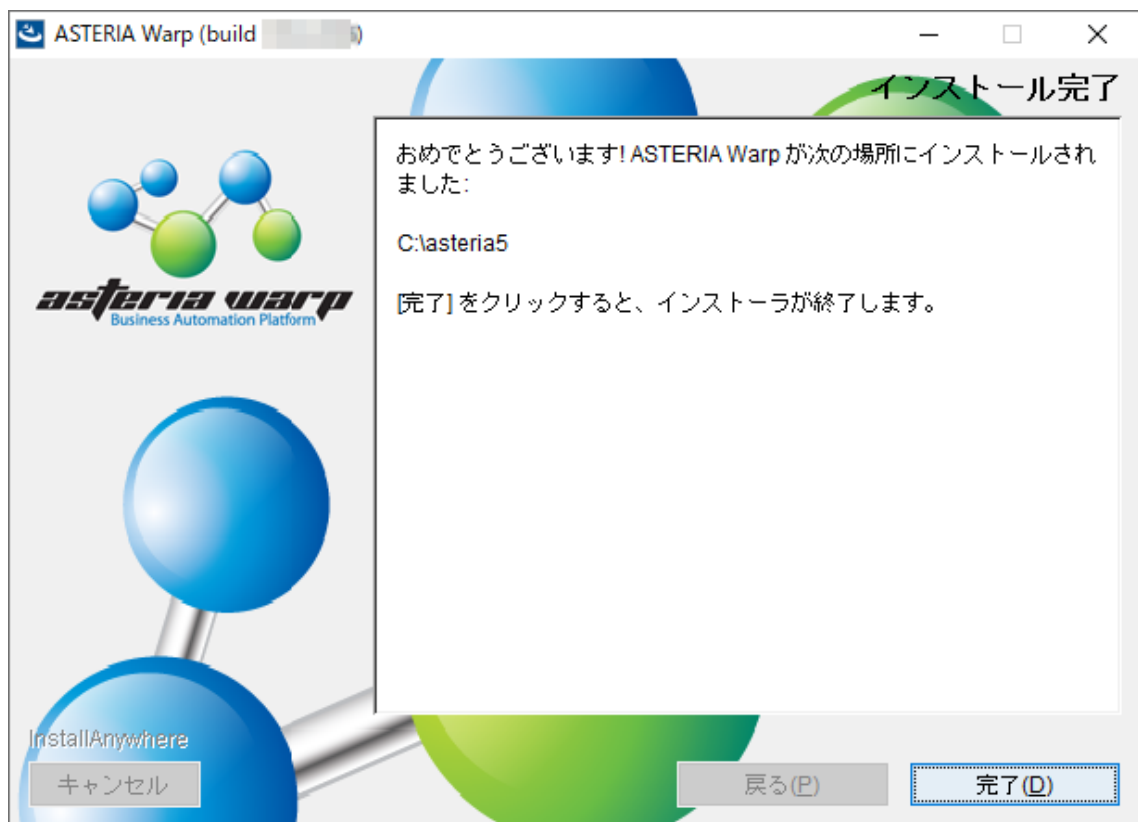


内容を確認したら「インストール」をクリックしてください。

17. インストールが開始されます。



18. インストールが完了するとインストール完了画面が表示されますので「完了」をクリックします。



2.1.2. Linux の場合

1. インストールユーザーでログインします。
2. フローサービスが起動している場合は停止します。
3. ユーザーサイトからダウンロードした次のファイルを実行し、ASTERIA Warp サーバー (以下、サーバーと呼びます)のインストーラーを実行します。

install-asteriawarp-linux.bin (ASTERIA Warp Standard/Enterprise)

```
# ./install-asteriawarp-linux.bin
```

※インストーラーがすぐに終了してしまう場合は、事前にインストールした **Java** のパスを環境変数 **PATH** に追加してください。

4. インストーラーで使用する言語の選択画面が表示されますので使用する言語の番号を入力して<ENTER>キーを押してください。

```
=====
Choose Locale...
-----

    1- English
    ->2- 日本語

CHOOSE LOCALE BY NUMBER:
```

5. 開始画面が表示されますので<ENTER>キーを押します。

```
=====
開始画面
----

InstallAnywhere の指示に従って操作していくと、ASTERIA Warp を簡単にインストールできます。

このインストールを続行する前に、すべてのプログラムを終了することをお勧めします。

各指示に従って操作すると、次のインストール手順へ進むことができます。前の手順で指定した内容を変更する場合は、[戻る] ボタンをクリックしてください。

[終了] ボタンをクリックすると、いつでもインストールをキャンセルできます。

続行するには ENTER キーを押します:
```

6. 使用許諾契約の画面が表示されます。<ENTER>キーを押すと先に進みます。表示されるソフトウェア使用許諾契約書をよく読み、同意する場合は「Y」、同意しない場合は「N」を入力して<ENTER>キーを押してください。

```
=====
使用許諾契約
-----

ASTERIA Warp をインストールして使用するには、
以下のライセンス契約に同意する必要があります:

ソフトウェア使用許諾契約書

.....

この使用許諾契約の条項に同意しますか。 (Y/N):
```

7. インストールフォルダの選択画面が表示されます。サーバーをインストールするフォルダを指定してください。バージョンアップする場合は旧バージョンのインストールフォルダを指定してください。

```
=====
インストール フォルダを選択
-----

インストール場所を指定してください。

デフォルトのインストール フォルダー: /home/user/asteria5

絶対パスを入力するか、ENTER キーを押してデフォルトを使用してください。 :
```

8. JavaVM の選択画面が表示されます。事前にインストールした Java のファイルパスを選択して<ENTER>キーを押してください。7. で旧バージョンのインストールフォルダを選択した場合はこの画面は表示されません。また、JavaVM が見つからずにインストーラーが

```
=====
Java Virtual Machine の選択
-----

使用する Java VM を選択してください

->1- /home/user/jre1.8.0_111/bin/java

2- システムにすでにインストールされている Java VM を選択

Java VM の番号を入力するか、または現在の選択項目を使用する場合は ENTER
キーを押してください。 :
```

9. インストール内容の確認が表示されます。内容が正しければ<ENTER>キーを押してください。

```
=====
インストール内容の確認
-----

操作を続ける前に、以下の内容を確認してください。

製品名:
  ASTERIA Warp

インストール フォルダー:
  /home/user/asteria5

インストールする製品が使用する Java VM:
  /home/user/jre1.8.0_111

続行するには ENTER キーを押します。:
```

10. インストールが開始されます。

```
=====
インストール中...
-----

[=====|=====|=====|=====]
[-----|-----|-----]
```

11. インストールが完了するとプロンプトが戻ってきます。

```
=====
インストール中...
-----

[=====|=====|=====|=====]
[-----|-----|-----|-----]
#
```

2.2. 初期設定の実行

インストールが完了したら、次にサーバーの初期設定を行います。

2.2.1. 初期設定画面の起動

■Windows の場合

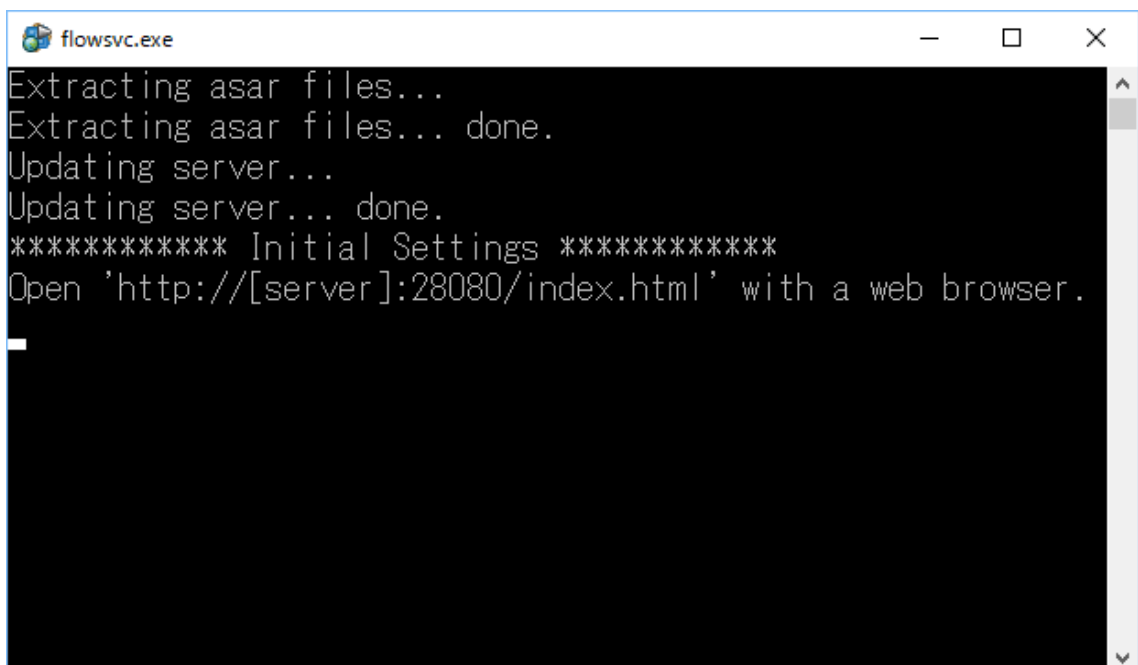
次の手順で初期設定画面を起動してください。

1. スタートメニューから「フローサービスの開始」を実行してください。



※インストール直後は Windows のサービスからは起動することができません。
必ず、スタートメニューから起動してください。

2. コマンドプロンプトが開きサーバーのアップデート処理が行われます。
3. しばらくすると、初期設定画面が起動し次のように表示されます。



```
flowsvc.exe
Extracting asar files...
Extracting asar files... done.
Updating server...
Updating server... done.
***** Initial Settings *****
Open 'http://[server]:28080/index.html' with a web browser.
```

4. ブラウザーから次の URL にアクセスします。

<http://localhost:28080/index.html>

※localhost で接続できない場合はサーバーの IP アドレスを指定してください。

■Linux の場合

次の手順で初期設定画面を起動してください。

1. `cd` コマンドでインストールフォルダーに移動します。

```
# cd asteria5
```

2. 次のコマンドを実行し初期設定画面を起動します。

```
# ./boot/bin/flowsvc
```

3. 初期設定画面が起動できたかログを表示して確認します。次のように表示されたら初期設定画面は起動されています。

```
# cat boot/log/Bootstrap0.log
[2016-10-30T14:58:51.481 EDT] 情報 ***** Initial Settings *****
[2016-10-30T14:58:51.484 EDT] 情報 Open 'http://[server]:28080/index.html' with a web browser.
```

4. ブラウザーから次の URL にアクセスします。

<http://localhost:28080/index.html>

※localhost で接続できない場合はサーバーの IP アドレスを指定してください。

2.2.2. 初期設定画面でサーバーの初期設定を行います

初期設定画面が起動したらブラウザーで次の URL にアクセスします。

<http://localhost:28080/index.html>

※localhost で接続できない場合はサーバーの IP アドレスを指定してください。

ブラウザーに初期設定画面が表示されますので、以下の手順でサーバーの初期設定を行います。

1. ユーザーサイトのアカウント情報を入力します。

契約設定

契約情報を入力してください

契約アカウント名 (メールアドレス) *

user@test.com

契約アカウントのパスワード *

●●●●●

次へ

2. ライセンスキーを入力します。

ライセンス設定

ライセンス情報を入力してください

ライセンスキー

戻る

次へ

事前にユーザーサイトからダウンロードしておいたライセンスキーを入力します。

3. サーバーの各種の設定情報を入力します。

システム設定

システムの情報を設定してください

データフォルダー *

C:/asteriahome5

ポート番号を選択してください: 20000 ▾

スーパーユーザー (/asu) のパスワード

●●●●●●

プロキシ情報を設定

戻る 次へ

ここではフローサービスの各種設定情報として以下の情報を指定します。

データフォルダー	フローサービスが使用するデータフォルダーを絶対パスで指定します。
ポート番号	フローサービスが使用するポート番号のベースとなる番号を20000/30000/40000の中から選択します。
スーパーユーザーのパスワード	フローサービスのスーパーユーザーである「/asu」ユーザーのパスワードを指定します。
プロキシ情報	クリックするとフローサービスが通信するときに使用するプロキシの情報を設定することができます。プロキシを使用しない場合は設定する必要はありません。

4. 新規ユーザーの作成

新規ユーザー

作業用のユーザーを作成する

ユーザーの情報を設定してください

ユーザーの権限を選択してください: developer ▼

ユーザーの名前*

ユーザーのパスワード

ホームフォルダーにサンプルフローをコピーする

戻る
完了

フローサービスでは作業用のユーザーが必要です。作業用のユーザーを作成するには「作業用のユーザーを作成する」チェックボックスをチェックし、以下の内容を入力します。

ユーザーの権限	ユーザーには「管理者(administrator)」「開発者(developer)」「運用者(operator)」の3種類の権限があります。それぞれの権限によりフローサービスで使用できる機能が制限されます。詳しくは管理コンソールのヘルプをご覧ください。
ユーザーの名前	作成するユーザーの名前を指定します。 作成したユーザーのホームフォルダーは、 [先ほど入力したデータフォルダー]/home/[ユーザーの名前]となります。
ユーザーのパスワード	作成するユーザーのパスワードを指定します。
ホームフォルダーにサンプルフローをコピーする	チェックするとユーザーのホームフォルダーにサンプルフローをコピーします。

5. 初期設定画面ですべての項目を入力し「完了」をクリックするとサーバーの初期設定が行われ、サーバーが起動します。



コマンドプロンプトには次のように表示されてフローサービスの起動が完了します。

```
flowsvc.exe
ASTERIA Warp Server
Copyright (C) 2002- Asteria Corporation
All rights reserved.

設定情報を読み込みます ... OK
ログサーバーを起動します ... OK
コントロールサーバーを起動します ... OK

AccessControl ... 起動: 開始しました
ManagementConsole ... 起動: 開始しました
InternalDataStorage ... スキップしました
FlowService ... 起動: 開始しました
Scheduler ... 起動: 開始しました
FtpService ... スキップしました

ASTERIA Warp Serverの起動が完了しました
```

6. Linux の場合は、`fsctrl` コマンドを実行してフローサービスの起動を確認してください。

```
# ./server/bin/fsctrl status
ASTERIA Warp Server Controller XXXX
Copyright (C) 2002-20XX Asteria Corporation
All rights reserved.

(localhost:29899)
Status...
AccessControl      ... Running
ManagementConsole ... Running
InternalDataStorage ... Stopped
FlowService        ... Running
Scheduler          ... Running
FtpService         ... Stopped
```

上記のように `Scheduler` が `Running` と表示されれば起動完了です。

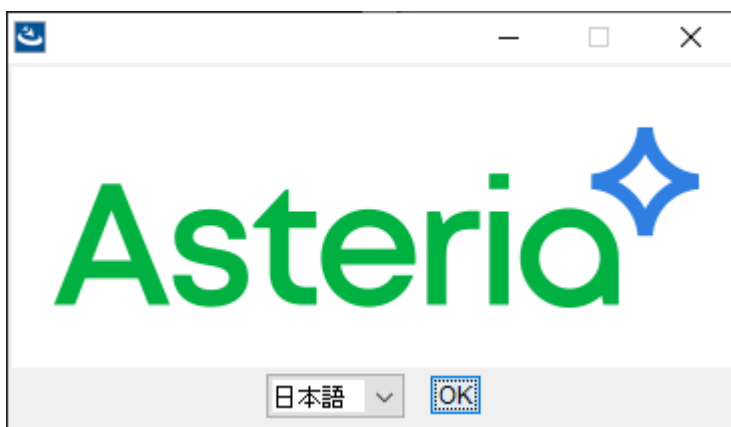
3. フローデザイナーのインストール

フローサービスを利用する場合、フローを設計するための ASTERIA Warp フローデザイナー(以下、フローデザイナーと呼びます)を開発用のマシンにインストールしなければなりません。手順は以下のとおりです。

1. インストールユーザーで Windows にログインします。
2. フローデザイナーを実行している場合は終了します。
3. ユーザーサイトからダウンロードした以下のファイルを実行します。

`install-designer-win.exe`

4. 言語の選択画面が表示されます。

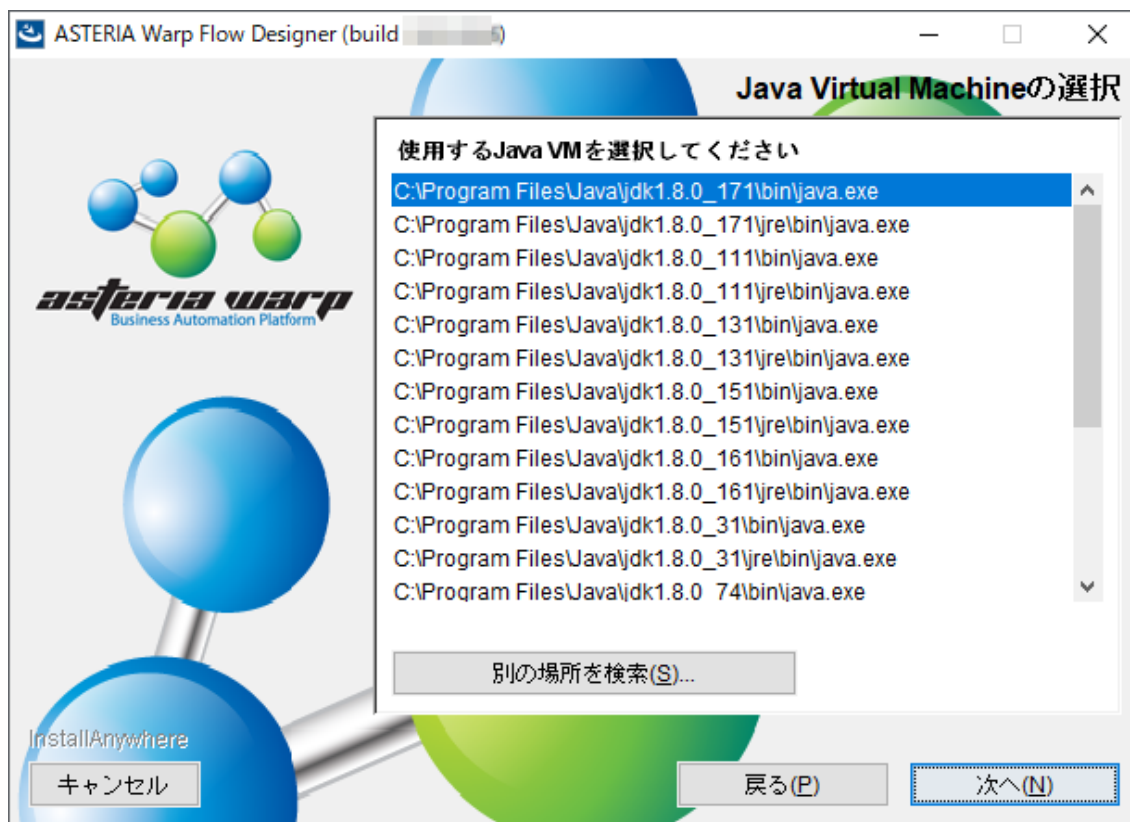


インストーラーで使用する言語を選択した後「OK」をクリックしてください。

5. インストールに際しての注意事項が表示されます。「次へ」をクリックしてください。

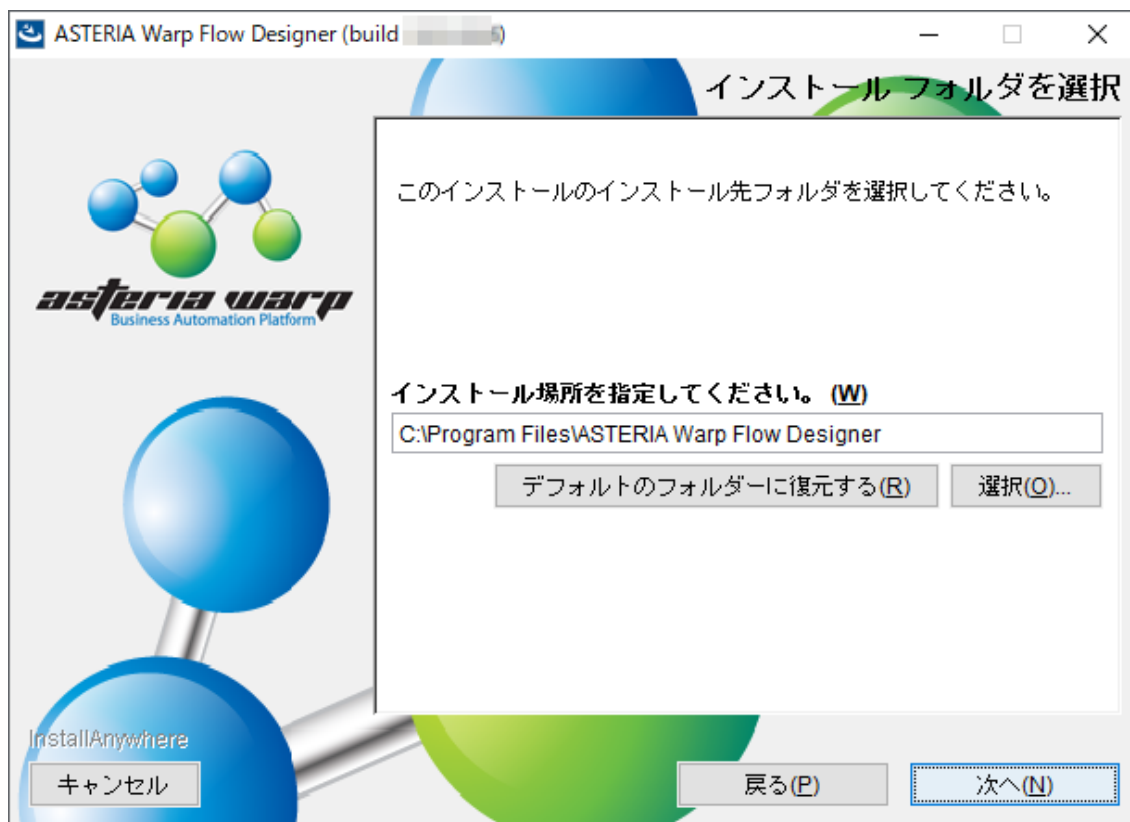


6. JavaVM の選択画面が表示されます。



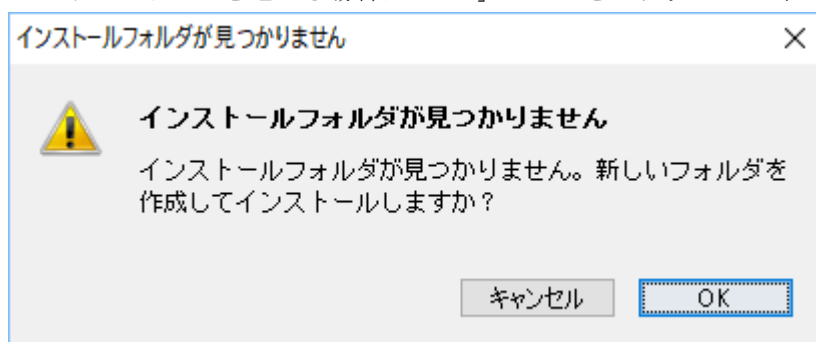
事前にインストールした Java のファイルパスを選択します。使用する Java が一覧に表示されていない場合は「別の場所を検索」ボタンで一覧以外の Java を選択することができます。

7. インストールフォルダの選択画面が表示されます。

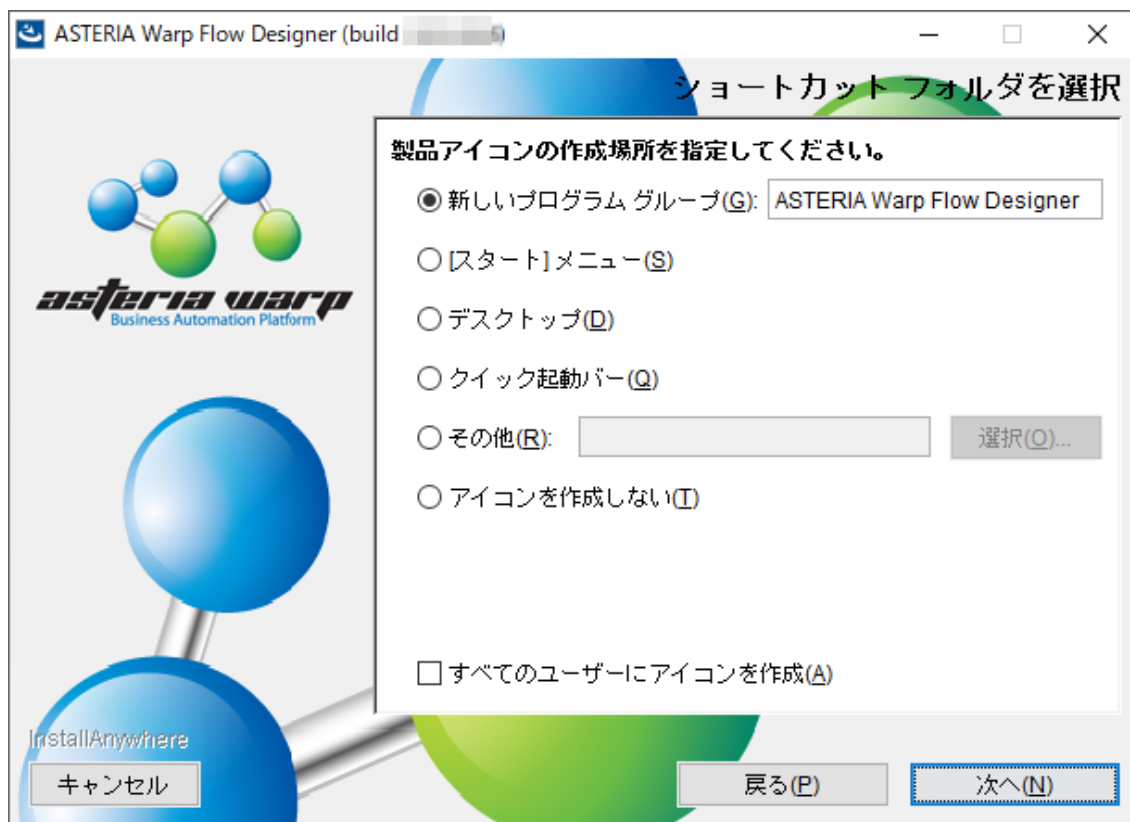


フローデザイナーをインストールするフォルダを指定して「次へ」をクリックしてください。

指定したフォルダが存在しない場合は、次のダイアログが表示されます。フォルダを作成してインストールを進める場合は「OK」ボタンをクリックしてください。



8. ショートカットフォルダの選択画面が表示されます。

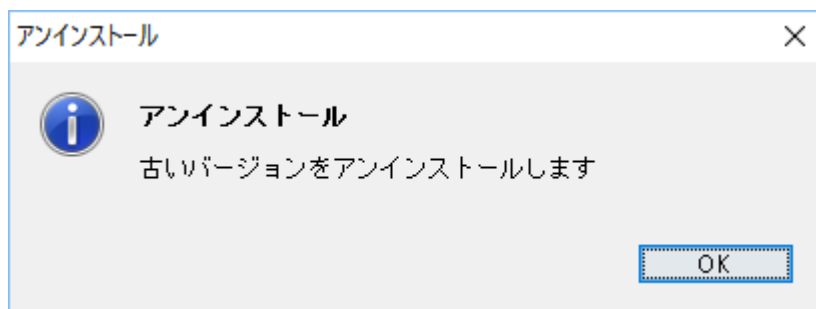


フローデザイナーをスタートメニューに登録する際のショートカットを作成する場所を選択します。

ショートカットフォルダを選択したら「次へ」をクリックしてください。

9. 過去のバージョンからアップデートする場合、過去のバージョンをアンインストールします。ここからはアンインストールが行われる場合に表示されます。新規にインストールする場合は 14. へお進みください。

10. アンインストールの開始画面が表示されます。



過去のバージョンをアンインストールします。「OK」ボタンをクリックしてください。

11. アンインストーラーが起動します。



フローデザイナーを起動している場合はフローデザイナーを終了した後、「アンインストール」をクリックしてください。

12. アンインストールが開始されます。



13. アンインストールが完了するとアンインストール完了画面が表示されますので「完了」をクリックしてください。

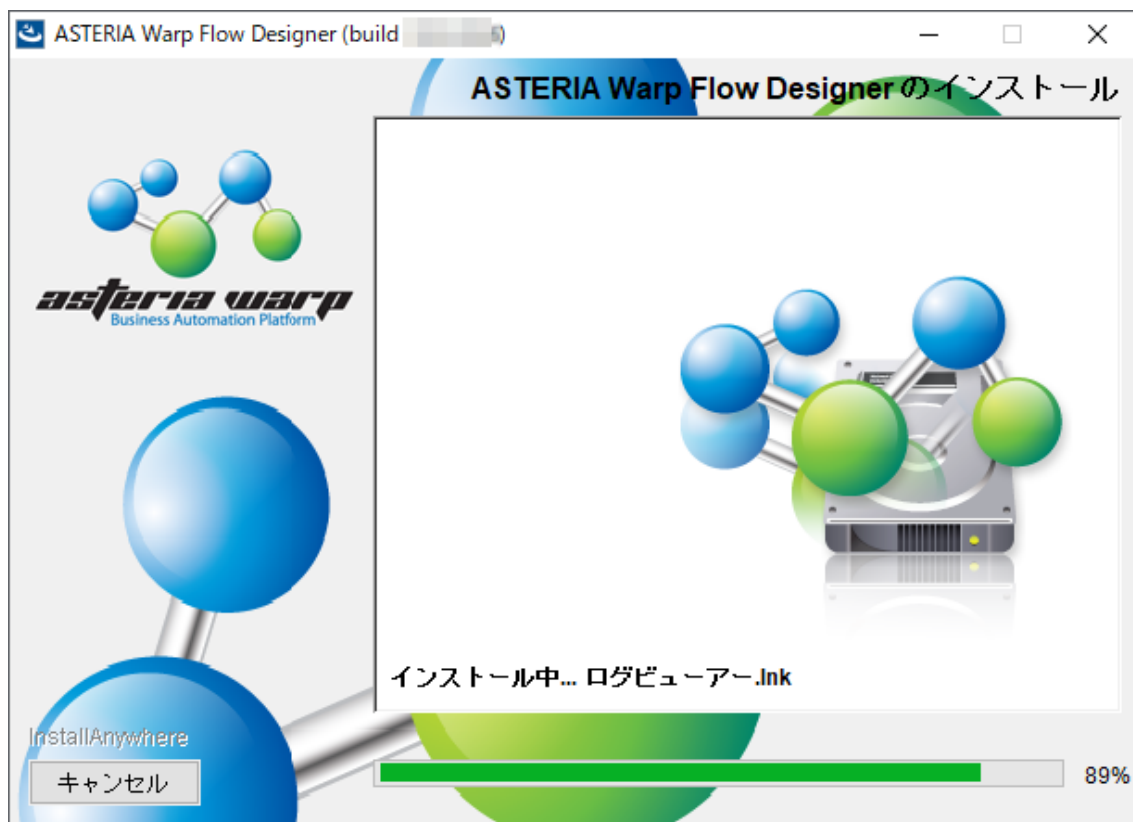


14. インストール内容の確認画面が表示されます。

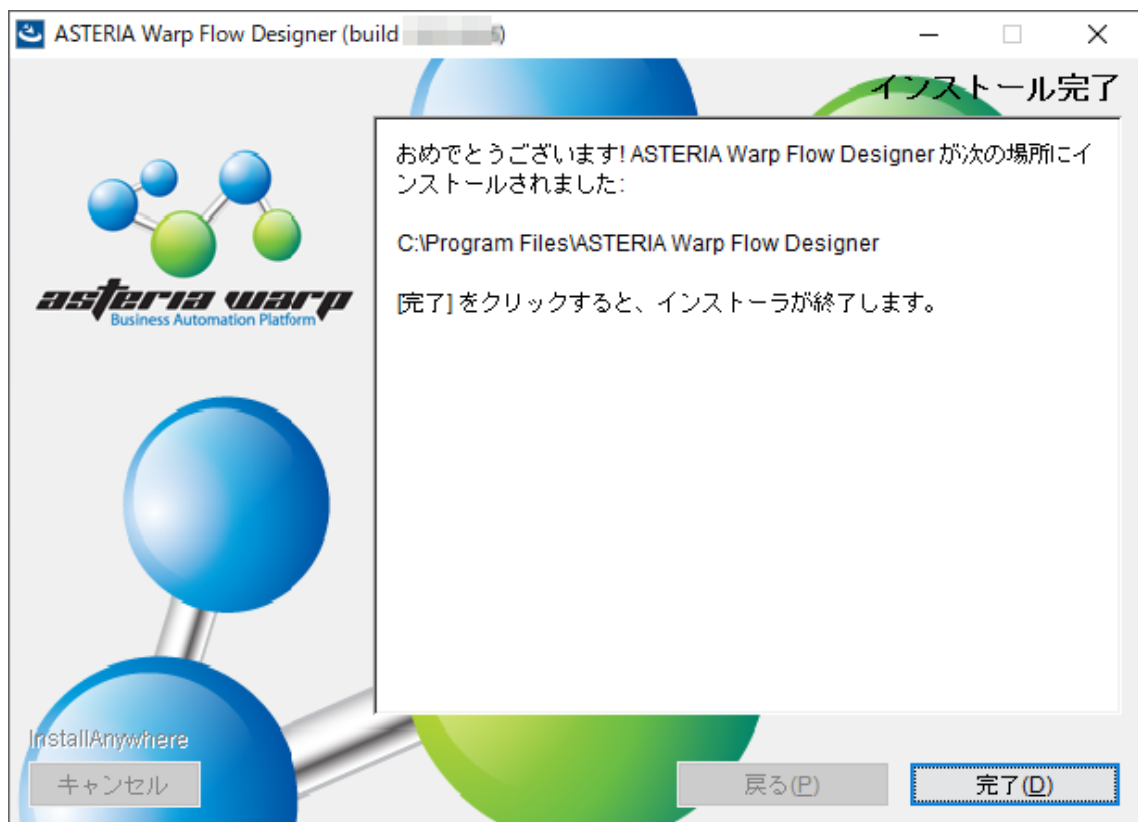


内容を確認したら「インストール」をクリックしてください。

15. インストールが開始されます。



16. インストールが完了するとインストール完了画面が表示されますので「完了」をクリックしてインストーラーを終了してください。



4. インストール後

4.1. フローサービスの起動

フローサービスは次のいずれかの方法で起動できます。

- Windows サービスからの起動

Windows の「管理ツール」から「サービス」を起動し、「ASTERIA Warp」を起動します。

- Windows スタートメニューからの起動

Windows のスタートメニューから「ASTERIA Warp」-「フローサービス開始」を実行します。

※インストール時にショートカットの作成先を変更した場合はそちらを参照してください。

- UNIX コンソールからの起動

サーバーにインストールユーザーでログインし、`[INSTALL_DIR]/boot/bin/flowsvc` を実行します。

4.2. フローサービスの停止

フローサービスは次のいずれかの方法で停止できます。

起動方法に応じた停止方法でサービスを停止してください。

- Windows サービスからの停止

Windows の「管理ツール」から「サービス」を起動し、「ASTERIA Warp」を停止します。

- Windows スタートメニューからの停止

Windows のスタートメニューから「ASTERIA Warp」-「フローサービス停止」を実行します。

※インストール時にショートカットの作成先を変更した場合はそちらを参照してください。

- UNIX コンソールからの停止

サーバーにインストールユーザーでログインし、`[INSTALL_DIR]/boot/bin/fsstop` を実行します。

4.3. フローデザイナーの起動

フローサービスで動作させるフローは、開発用のマシンにインストールしたフローデザイナーを使って開発します。

フローデザイナーは、Windows のスタートメニューから「ASTERIA Warp Flow Designer」-「フローデザイナー」を実行することで起動できます。

※インストール時にショートカットの作成先を変更した場合はそちらを参照してください。

4.4. フローサービス管理コンソールへのアクセスについて

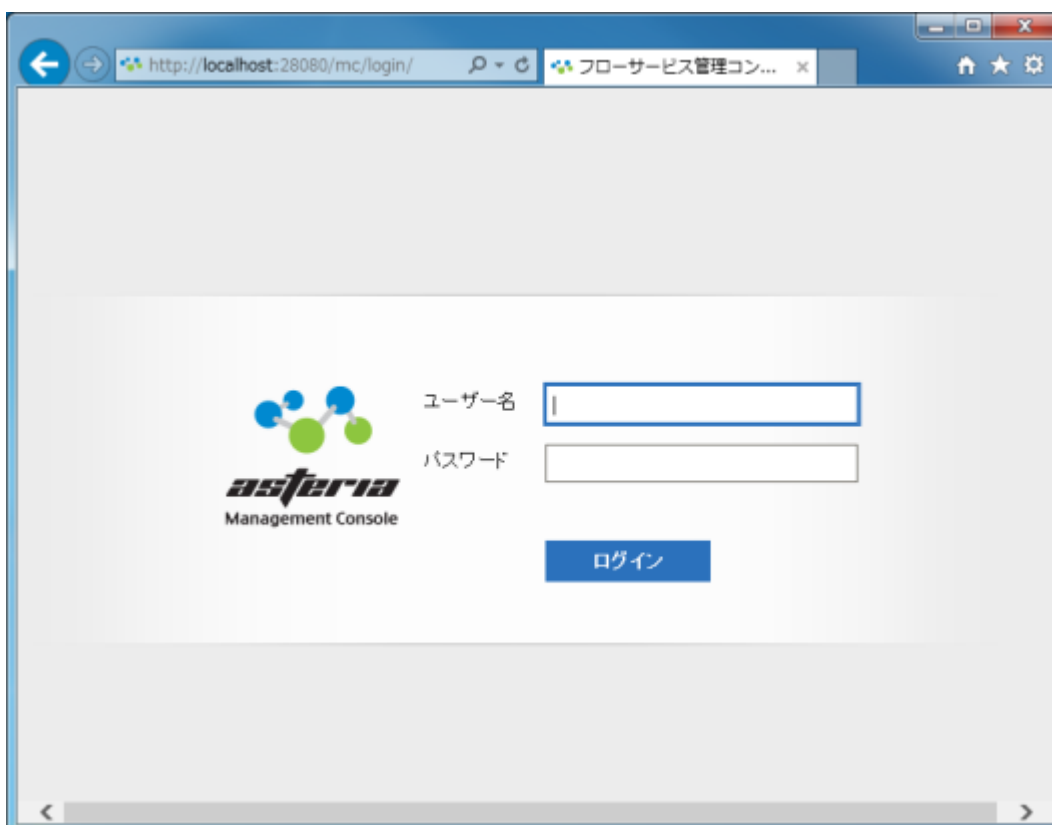
フローサービスで利用するユーザーの作成や各種設定、ログの参照、サービスの起動設定などは、「フローサービス管理コンソール」にて行います。利用するには、Web ブラウザから以下の URL にアクセスします。

`http://<server>:28080/`

<server>部分は、サーバーをインストールしたマシンの IP アドレスまたはホスト名を入力します。

4.5. フローサービス管理コンソールへのログインについて

フローサービス管理コンソールのトップページにて、「ユーザー名」「パスワード」の各欄にフローサービスのユーザーの情報を入力しログインします。インストール直後の場合は初期設定画面で設定したスーパーユーザーか作業用のユーザーでログインすることができます。



ログインすると、以下の画面が表示されます。

The screenshot displays the Aspera web interface. At the top left is the Aspera logo. Below it is a vertical sidebar with icons and labels for '状態' (Status), '設定' (Settings), 'ツール' (Tools), 'システム' (System), and 'ヘルプ' (Help). The main header contains navigation icons for 'ログ' (Log), 'フロー' (Flow), 'バージョン管理' (Version Management), and 'ログアウト' (Logout). Below the header, there are tabs for 'システム' (System) and 'アプリケーション' (Application). The main content area features a search and filter section with the following elements:

- File name: 'FlowService' (dropdown)
- Output level: '情報' (Information) (dropdown)
- Download button: 'ダウンロード'
- Display options: '表示 1000 件' (Display 1000 items), '逆順表示' (Reverse order) (checked), '文字サイズ 12 pt' (Font size 12 pt)
- Search options: 'キーワード' (Keyword) input field, 'OR' (selected) and 'AND' radio buttons, 'クリア' (Clear) button
- Date range: '日時 2016-10-30 00 : 00 ~ 23 : 59' (Date time 2016-10-30 00 : 00 ~ 23 : 59)
- Display button: '表示'

The bottom right corner shows the user's session information: ': fasu'.

4.6. アダプターの適用方法について

フローサービスの各種アダプターを購入しユーザーサイトからダウンロードした後、次の手順でサーバーとフローデザイナーに適用します。

■サーバーへの適用方法（オンライン環境）

1. Standard/Enterprise エディションの場合はユーザーサイトから新しいライセンスキーをダウンロードします。
2. フローサービス管理コンソールに管理者権限のユーザーでログインします。
3. 「システム>ライセンス情報」画面を表示します。Core/Core+エディションの場合はライセンスキーの横に表示される「取得」ボタンをクリックしてライセンスキーを更新します。Standard/Enterprise エディションの場合はライセンスキーの横に表示される「変更」ボタンをクリックし、1でダウンロードしたライセンスキーを入力してライセンスキーを更新します。

ライセンス情報 サーバー情報 契約情報 アップデート 初期化 ログアウト

ライセンスキー

状態

変更 取得

基本ライセンス情報

ASTERIA WARP Core (使用期限: 2016-10-31)

オプションライセンス

Excelアダプターオプション
ActiveDirectory/LDAPアダプターオプション
Notesアダプターオプション
Dr.SumEAアダプターオプション
チャートオプション
Amazon Web Servicesアダプターオプション
Microsoft Azureアダプターオプション

4. サーバーを再起動します。
5. 「システム>アップデート>アダプター」画面を表示します。

ライセンス情報 サーバー情報 契約情報 アップデート 初期化 ログアウト

システム バッチ アダプター

詳細 アップロード すべて適用

アダプター名 ▲	現在のビルド番号 ▲	最新ビルド番号
ActiveDirectory/LDAPアダプター	0305	ダウンロード
Amazon Web Servicesアダプター	0305	
Dr.SumEAアダプター	0305	

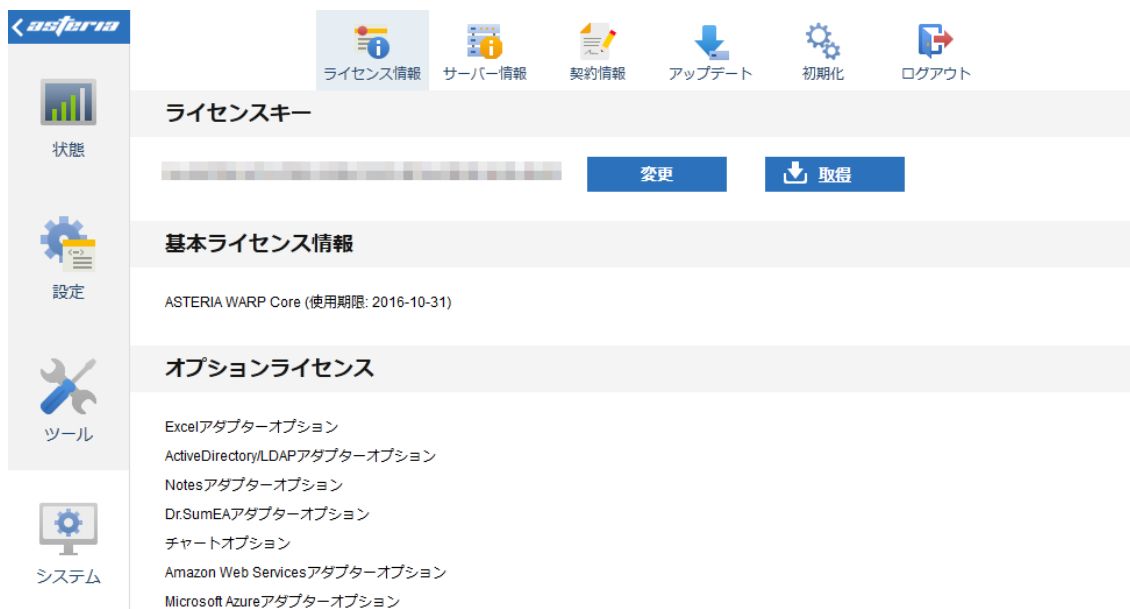
- アダプターの一覧で、購入したアダプターの横に「ダウンロード」ボタンが表示されますので「ダウンロード」ボタンをクリックしてください。



- サーバーを再起動します。

■サーバーへの適用方法（オフライン環境、Standard/Enterprise エディションのみ）

- ユーザーサイトから新しいライセンスキーをダウンロードします。
- ユーザーサイトからアダプターをダウンロードします。
- 「システム>ライセンス情報」画面を表示します。Standard/Enterprise エディションの場合はライセンスキーの横に表示される「変更」ボタンをクリックし、1でダウンロードしたライセンスキーを入力してライセンスキーを更新します。

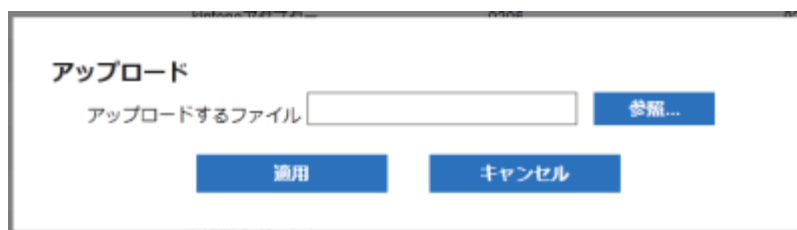


- サーバーを再起動します。

5. 「システム>アップデート>アダプター」画面を表示します。



6. アクションバーの「アップロード」メニューをクリックし、ユーザーサイトからダウンロードしたアダプターをアップロードします。



7. サーバーを再起動します。

■フローデザイナーへの適用方法

1. アダプターを適用済みのサーバーへフローデザイナーで接続します。
2. メニューの「ツール>コンポーネント/マッパー関数の取得」でアダプターの jar ファイルをダウンロードします。



3. フローデザイナーを再起動します。

4.7. フローサービスの利用方法について

フローサービスの詳細については次のドキュメントを参照ください。
いずれのドキュメントも製品サイトからアクセスできます。

- 「フローサービス マニュアル」
(フローデザイナーの「ヘルプ」・「ヘルプ」メニューからもアクセスできます。)
 - はじめに
 - フローデザイナー操作ガイド
 - コンポーネントリファレンス
 - マッパー関数リファレンス
 - 運用ガイド
- 「フローサービス管理コンソール オンラインヘルプ」
(フローサービス管理コンソールの「ヘルプ」・「ヘルプリンク」メニューからもアクセスできます。)
- 英語・中国語のドキュメント
ユーザーサイトの「ダウンロード」メニューから英語と中国語のドキュメントをダウンロードすることができます。

5. アンインストール

5.1. サーバー アンインストール手順

5.1.1. Windows の場合

1. インストールユーザーで Windows にログインします。
2. サーバーを実行中の場合はサーバーを停止します。
3. スタートメニューから「アンインストール ASTERIA Warp」を実行します。
4. 必要に応じてデータフォルダを削除します。

- ※ インストールフォルダには一部のファイルが残ることがあります。完全にアンインストールするには、アンインストール実行後にインストールフォルダを削除してください。
- ※ データフォルダはアンインストールされません。完全にアンインストールするにはデータフォルダも削除してください。
- ※ サーバーなどが実行中の場合、アンインストールが正しく実行されない場合があります。必ず終了させてからアンインストールを実行してください。

5.1.2. Linux の場合

1. インストールユーザーで OS にログインします。
2. サーバーを実行中の場合はサーバーを停止します。
3. インストールフォルダを削除コマンドで削除します。
4. 必要に応じてデータフォルダを削除します。

- ※ 削除コマンドの使い方は OS のマニュアル等を参考にしてください。

5.2. フローデザイナー アンインストール手順

1. インストールユーザーで Windows にログインします。
2. フローデザイナーを実行中の場合はデザイナーを終了します。
3. スタートメニューから「アンインストール ASTERIA Warp Flow Designer」を実行します。